

日本海側の津波予測等について

現 状 等	<p>①京都府地域防災計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若狭湾内断層による津波として、府内27地点で10cm～110cmを想定（H10年度） <p>②東日本大震災以後の地域防災の見直し部会等での議論（H23年～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆緊急・短期的に対応すべきもの <ul style="list-style-type: none"> ・日本海側は大きなプレート境界が少なく、水深も浅いため、高い津波は想定しがたい。海底断層のデータがなく検討が進まないため、国の調査実施を強く要請 ◆中長期的に対応すべきもの <ul style="list-style-type: none"> ・津波が発生した場合の対応については、国の調査結果等を踏まえ、検討しておく必要 <p style="text-align: center;">⇓</p> <p>○津波防災地域づくりに関する法律（H23.12.27施行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国は基礎調査を基に津波を発生させる断層モデル等津波浸水想定の設定に必要な情報を提供予定。都道府県はこれを基に最大クラスの津波による浸水想定を設定することとされている ・日本海側の各府県では浸水想定未設定 <p>○国土交通省日本海における大規模地震に関する調査検討会(H25.1～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の調査による知見を踏まえ、断層モデルや各市町村ごとの津波高を公表見込み（次期調査検討会：本年5～6月頃見込み） <p>○日本海地震・津波調査プロジェクト（調査期間：H25年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海側の地震・津波発生モデルを構築の上、日本海側の地震・津波想定や防災対策の検討に資するデータを提供予定 <p>③隣接県の津波高想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県(H24年度) 5. 9 m〔若狭海丘列付近断層〕 3. 3 m〔野坂、B及び大陸棚外縁断層〕 3. 2 m〔越前堆列付近断層〕 ・兵庫県(H12年度) 3. 6 m〔隠岐舟上海盆を挟む2つの活断層〕
-------------	--

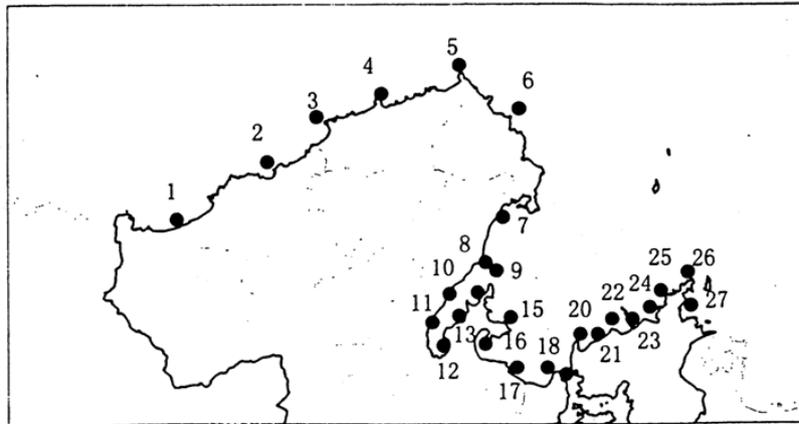


今 後 の 対 応 案	<p>①国が公表するデータの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的には日本海地震・津波調査プロジェクトの結果を踏まえることが最適 ・日本海地震・津波調査プロジェクトの結果が公表されるまでの間に、国土交通省の調査検討会のデータが公表されれば活用 <p>②当面の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の公表データが示されるまでの間、当面、訓練等に使用する指標として、隣接県の想定(3.2～5.9m)を準用
----------------------------	---

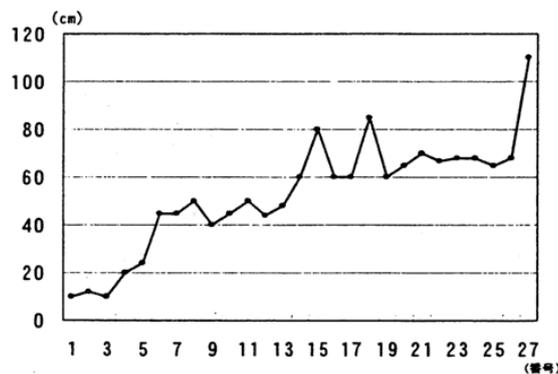
【京都府地域防災計画における津波の予測】

若狭湾内断層地震による津波の最大波高として、舞鶴市風島付近（下図の地点番号27）で最大110cm程度を想定

数値シミュレーション 計算地点



各地点における津波最大波高分布



【京都府北部における主な津波の最大波高】

発生年月日	地震名称	規模 (M)	検潮所		
			舞鶴 (東) (気象庁)	舞鶴 (西) (海上保安庁)	宮津 (関西電力(株))
1983年 (昭和58年) 5月26日	日本海中部地震	7.7	44cm	69cm	96cm (野原で遡上 高2.3m)
1993年 (平成5年) 7月12日	北海道南西沖地震	7.8	70cm	82cm	—
2011年 (平成23年) 3月11日	東北地方太平洋沖地震	9.0	25cm (暫定値)	—	—

※1927年(昭和2年)3月7日北丹後地震(M7.3):津居山港(円山川河口、兵庫県)で高さ30cmの津波を記録